

事務事業実績測定調書

R5調書番号 317

事務事業名称	子ども・子育て支援事業計画等関係事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	子ども未来部		課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3	○	R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称	枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会				
事業対象	メインターゲット	市内在住のおおむね18歳未満の全ての子ども及びその保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加による保育需要の高まりがある一方で、待機児童が生じている状況や児童虐待の恐れ等、保護者を取り巻く子育て環境の変化に伴う諸問題に対応し、子ども・子育てに関する施策を効果的に実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子ども・子育て支援事業計画等を適切に策定・推進することで、基本理念である「子どもが笑顔で健やかに成長できるまち枚方」の実現が出来る状態。				
事業概要	・「枚方市子ども・子育て支援事業計画」の策定、進捗管理及び「枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会」の事務局運営を行う。 ・「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン」のプラン後期を見据えた改定等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」に係る取り組みが確実に推進される。				「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」の充実を検討する。			
指標設定	指標説明		委員会等で出た意見のうち、各事業に反映できた数				「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理や計画改定を検討する委員会等での意見数(各年度当初の持ち越し分を含む)			
			単位				単位			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		1	1	1	1	3	3	3	3
	実績		0	0	1	1	3	0	4	3
達成度			100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,214	8,984	7,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,214	8,984	7,895		
	物件費計	0	0	5,956	7,000	85.1%
歳出計		10,214	8,984	13,851		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	5,956	7,000	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会において、第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行うとともに、同計画が令和6年度に終期を迎えることから、次期計画策定について審議した。第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画の各事業に対して委員からいただいた意見については、各事業への反映を検討し、1件が実施に至った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行うとともに、社会福祉審議会子ども・子育て専門分科会等からの意見について、各事業への反映を検討することで、計画にかかる取り組みの充実を図る。また、各種調査を行うなど、次期計画である(仮称)枚方市子ども計画の策定に向けた取り組みを進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 362

事務事業名称	青少年健全育成事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	1974(S49)年度			年度	～	年度まで		
根拠法令等	大阪府青少年健全育成条例、枚方市青少年育成指導員に関する規則							
関係補助金名称					サンセット		～	
関係附属機関名称	青少年問題協議会							
事業対象	メインターゲット	未成年者						
	サブターゲット	成人						
	ターゲットが抱える課題	不審者等から狙われる危険性。						
	ターゲットが抱える課題	周囲の環境などの様々な要因から、非行に走り、他者や自分自身を傷つけてしまう状況になる。						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	巡回やこども110番運動などの大人や地域の見守りにより、安心して子どもが暮らせ、青少年が自らの力で心身ともに健やかな成長を遂げていこうとする状態。							
事業概要	青少年育成指導員(定数380人)は、各45小学校区コミュニティ協議会の推薦を経て、市長が委嘱して活動している。 活動内容としては、各校区内において、①青少年問題に関する相談活動、②地域青少年団体の指導育成③街頭における青少年の指導、④地域の環境浄化と関係先への連絡、⑤啓発・広報活動を行っている。また、校区における街頭パトロール活動のほか、不審者から逃れるために駆け込んできた子どもたちの安全を確保するため、各地域において「こども110番の家」の旗の設置推進活動を実施したり、青少年の健全な成長を阻害する有害な環境から青少年を保護するため制定されている「大阪府青少年健全育成条例」の普及啓発を図るとともに有害図書等の販売状況等を確認する「青少年社会環境実態調査」への協力も行っている。さらに、青少年の健全な育成に向けた社会環境づくりを社会全体で推進するため、各種街頭啓発活動にも取り組んでいる。 なお、委嘱された青少年育成指導員は、市青少年育成指導員連絡協議会を結成し、毎月45校区の代表者が集まり校区代表者会議を開催し、市との連絡調整や意見交換などを実施している。 また、地域の子ども会が任意加入している大阪府子ども会安全共済会事業の窓口についても、市青少年育成指導員連絡協議会が担っている(平成15年度末をもって市こども会連絡協議会が解散しているため)。							

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		安心して子どもが暮らせ、青少年が自らの力で心身ともに健やかな成長を遂げていこうとする状態になっている。				青少年健全育成に関する諸活動が拡がる。				青少年育成指導員より、青少年健全育成に関する諸活動を実施。				
指標設定	指標説明	こども110番運動協力件数				夏季統一パトロール及び年末一斉パトロールの実施回数(夏季2回、年末1回)				青少年育成指導員の人数				
	単位		件		単位		回		単位		人			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	5,000	5,000	5,000	5,000	135	135	135	135	380	380	380	380
		実績	4,730	4,728	4,612	4,326	33	75	77	107	358	355	361	356
達成度		87%				79%				94%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	348.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,714	6,093	5,527		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	4,712	4,612	4,630		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,426	10,705	10,157		
歳入	物件費計	781	875	889	1,287	69.1%
	歳出計	10,207	11,580	11,046		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		781	875	889	1,287	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた事業等も、コロナ禍以前の取り組みを再開することができた。また、校区代表者会議を実施（書面開催含む）することで、校区代表者を通じて、青少年育成指導員に情報提供を行い、状況に応じて取り組むことができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、青少年育成指導員との連携を図りながら、啓発事業や校区内パトロールを行うとともに、「こども110番の家」運動に協力いただける家庭及び事業所への旗の配付を行い、青少年健全育成に関する諸活動が広がるよう推進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 363

事務事業名称	枚方公園青少年センター維持管理事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1989(S64)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立枚方公園青少年センター条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	施設利用(貸館業務)については、主に青少年利用(団体)を優先しているが、地域・一般市民(在学在住在勤)も対象としている。また他市の方、政治・宗教・営利団体についても、一部条件に違いがあるが利用に供している。(予約面、使用料で差がある。)			
	サブターゲット	枚方公園青少年センターに在籍する職員、及び子ども青少年政策課担当職員。(純粋なセンター運営事務の部分について)			
	ターゲットが抱える課題	枚方公園青少年センターの運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	青少年の年代の方々に対して、居場所の提供、活動の支援を通じて対象者の健全な育成が達成されている状態。				
事業概要	開設:平成2年1月 所在地:枚方市伊加賀東町6-8 建物構造:鉄筋コンクリート地下1階地上3階建て(一部4階建て)建物面積1,465.12㎡。 1階部分は枚方市公設市場サンパーク、地下は駐車場。2階部分に枚方市立中央図書館枚方公園分室を併設。 主な設備:ホール(定員150名)、音楽室、料理実習室、和室、集会室、ロビー。 開設時間:毎月第4月曜日と年末年始を除く毎日午前9時から午後9時。 青少年団体をはじめとした利用団体の活動を支援するための貸館業務やロビー・印刷室などの利用への対応、館内施設の点検業務や清掃業務の委託などを行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		青少年の年代の方々に対して、居場所の提供、活動の支援を通じて対象者の健全な育成が達成されている。				適切な維持管理により、青少年の年代の方々が安心して利用できる機会が増える。				枚方公園青少年センターの施設保全や保守点検等の維持管理を行う。				
指標設定	指標説明	施設利用満足度 【算出式:「満足」「ほぼ満足」の回答者数/施設利用者アンケートの回答者数×100】				青少年団体の施設利用数				施設・設備・備品の修繕・更新の実施件数				
		単位		%										単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	70	75	80	85	450	460	470	480	5	6	7	7
		実績	72	89	84	94	163	339	263	312	6	10	9	11
達成度		111%				65%				157%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	6.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,588	12,595	13,437		
	会計年度任用職員	7,750	7,819	6,069		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	13,588	20,414	19,506		
歳入	物件費計	14,255	13,464	16,247	17,737	91.6%
	歳出計	27,843	33,878	35,753		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	2,532	3,481	3,333	3,700	
	市債	0	0	0	0	
	その他	46	67	65	100	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,578	3,548	3,398	3,800	
一般財源（物件費に充当されるもの）		11,677	9,916	12,849	13,937	

5. 総括的分析

総括的分析	アンケートによる施設利用者満足度の目標は達成できたが、青少年団体の施設利用数は目標を下回った。開設から30年以上が経過し、施設の老朽化が進むなか、利用者の満足度の向上と利用推進を図るため、引き続き、必要に応じた設備の改善等を行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、青少年に学習と憩いの場を与え、仲間づくりと活動を支援し、また、地域交流の場として、文化・学習でも利用できる施設として、利用者の満足度の向上と利用推進を図るため、必要に応じた設備の改善等を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 364

事務事業名称	枚方公園青少年センター 青少年サポート事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	子ども未来部		課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名	15-3.ひきこもりや若年無業者、ひとり親家庭の自立に向けた支援								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立枚方公園青少年センター条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	相談については青少年問題の悩みを持つ本人及びその家族・関係者。サポート講座はそれらを含めてその他一般の関心を持つ方々。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	青少年世代の方々が抱える様々な問題や悩みに対して、時間帯や場所など、幅広く相談できる手段がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	青少年のよろず問題に対して、相談の拠り処としてその一端、一助としての役割を果たし、問題の早期解決が図れる状態。				
事業概要	・概ね26歳までを対象として月2回(月曜日)の午後・夜間の時間帯に青少年問題専門の相談員による相談窓口を継続して実施。また、専用メールでの相談受付業務も実施している。 ・ひきこもりや不登校などの問題を抱える子どもをサポートする人材を育成する青少年サポート講座等を実施した。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		青少年のよろず問題に対して、相談の拠り処としてその一端、一助としての役割を果たし、問題の早期解決が図れる。				悩みを抱える青少年が相談しやすくなる環境が整備できる。				概ね26歳までを対象とした相談受付業務を実施。				
指標設定	指標説明	相談による効果度 【算出式:何らかの進展が得られたと推定される件数/相談件数×100】				相談(面接・電話)件数				青少年相談の実施(コマ)回数				
		単位		%										単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	50	53	55	58	55	57	59	61	84	84	84	84
		実績	91	69	57	75	49	67	64	52	84	81	78	81
達成度		129%				85%				96%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,714	2,847	2,083		
	会計年度任用職員	119	118	326		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,833	2,965	2,409		
物件費計		297	290	298	304	98.0%
歳出計		5,130	3,255	2,707		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		297	290	298	304	

5. 総括的分析

総括的分析	青少年センターの特徴的な取り組みである夜間相談（第1月曜日17時～19時50分、第3月曜日16時～19時50分）を実施し、相談による効果度については目標を達成した。また、サポート人材育成のためのサポート講座を実施した。今後も、引き続き、相談員と連携しながら本事業を継続していく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	引き続き、若者が抱える悩み（いじめ・不登校・ひきこもり・ニート等）についての相談窓口の開設を行い、悩みを抱える青少年をサポートする人材を育成する「サポート講座」を実施する。また、広報ひらかたや枚方市HPによる周知を図る。なお、令和6年度策定する（仮称）枚方市子ども計画に39歳までの若者施策の反映を検討しており、相談窓口の対象年齢や実施回数等の拡充等を検討していく予定としている。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 365

事務事業名称	枚方公園青少年センター 青年文化事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	子ども未来部		課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1990 (H2) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立枚方公園青少年センター条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市在住、在学在勤の青少年世代(概ね22歳まで)及びその関係者。			
	サブターゲット	その他一般市民			
	ターゲットが抱える課題	青少年の交流の機会が十分に提供されないことで、青少年のさらなる健全育成につながらない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	青少年に対して交流の機会・場所を提供し学習・文化・ボランティア事業等を実施していく事で、さらなる活発な青少年の健全育成につながっている状態。				
事業概要	学習事業として、青少年教室(子ども囲碁教室、夏休み教室…体験事業・ものづくり・大型絵本と工作、体験事業)、ボランティア支援事業(絵本のよみかたり活動への支援)、文化事業として枚方市少年少女合唱団、枚方公園ユーススクエア(サンサン人形劇場)、青年祭(ライブ)、1Dayフェスティバル(展示・ライブ等)を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		青少年の交流や、青少年文化事業を実施することで、さらなる活発な青少年の健全育成につながっている。	青少年の交流や、学習・文化・ボランティア事業等を行う機会が増える。	青少年の交流の機会の場の提供や青年の文化活動の支援を図ることを目的とする青少年文化事業を実施。
指標設定	指標説明	参加者による事業の満足度 【算出式:参加者アンケートで「楽しかった」「おもしろかった」等の回答者数/アンケート集計数×100】	青少年文化事業への参加者数	青少年文化事業の実施回数
		単位 %	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	80 83 85 88	2,590 2,600 2,610 2,620	22 23 24 25
	実績	91 88 92 98	146 1,041 1,624 2,279	15 46 64 68
達成度		111%	87%	272%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.90
再任用	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	19,111	17,586	19,031		
		会計年度任用職員	1,669	1,659	4,558		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	20,780	19,245	23,589		
	物件費計		2,979	3,818	3,625	3,945	91.9%
	歳出計		23,759	23,063	27,214		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			2,979	3,818	3,625	3,945	

5. 総括的分析

総括的分析	多くの行事が実施できたため、参加者数については、R4年度に比べて増加した。今後も引き続き、体験学習、工作教室、センター利用団体による青年祭などのイベント、子ども囲碁教室や子ども向けに絵本の読み語りを行う「よみかたりキャラバン隊」などの通年的実施、枚方市少年少女合唱団については、定期発表会を中心に、枚方市市民総合文化祭や行政行事に関わるイベントなどバランスのとれた活動など実施していく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、青少年に対して交流の機会・場所を提供し学習・文化・ボランティア事業等を実施していくことで、さらなる活発な青少年の健全育成につなげていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 367

事務事業名称	子ども・若者育成計画推進事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	主にひきこもり、ニート、不登校状態の子ども・若者			
	サブターゲット	主にひきこもり、ニート、不登校状態の子ども・若者の家族			
	ターゲットが抱える課題	様々な要因により一人ひとりにあった自分らしい自立につながっていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子ども・若者一人ひとりが、自分らしく自立している。				
事業概要	平成25年5月、子ども・若者育成支援推進法に基づく「枚方市子ども・若者育成計画～ひきこもり等の子ども・若者の自立に向けて～」を作成するとともに、計画策定の周知のため、冊子及び青少年サポートマップ(改訂版)を各関係部署及び関係機関に配布するとともに、啓発事業を実施した。 また、平成30年3月には、これまでの支援の結果から顕在化してきた課題等に対応するため、本計画の改定版を作成し、平成30年度以降の施策・支援を展開するものとした。なお、改定版の計画期間は、令和4年度までであるため、次期計画の策定に向け取り組みを進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						「枚方市子ども・若者育成計画(改訂版)」に係る取り組みが確実に推進される。				「枚方市子ども・若者育成計画(改訂版)」の充実を検討する。			
指標設定	指標説明					委員会等で出た意見のうち、各事業に反映できた数				「枚方市子ども・若者育成計画(改訂版)」の進捗管理や計画改定を検討する委員会等での意見数(各年度当初の持ち越し分を含む)			
						単位	件			単位	件		
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					1	1	1	1	3	3	3	3
	実績					3	3	2	3	6	7	6	7
達成度						300%				233%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	7,031	1,974		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	48	162	57		
	人件費計	1,619	7,193	2,031		
	物件費計	0	190	0	0	
歳出計		1,619	7,383	2,031		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	263	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	263	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。不登校の子どもに対する施策の充実を図るなど、「枚方市子ども・若者育成計画(第2期)」に基づき、施策の推進を図ることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「枚方市子ども・若者育成計画(第2期)」に基づき、社会情勢等の変化も見極めながら、困難を有する子ども・若者とその家族をできるだけ早く相談・支援機関につなげることや、自立に向けた支援体制の確立など施策の推進を図っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 368

事務事業名称	結婚等新生活支援事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017 (H29) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市結婚等新生活支援補助金交付要綱				
関係補助金名称	結婚等新生活支援補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	婚姻し枚方市内で新婚生活を送る40歳未満の新婚世帯等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	結婚等に伴い、経済的負担がかかる。			
	ターゲットが抱える課題	経済的理由により結婚等に踏み出すことができない。			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	経済的負担が軽減され、結婚等に踏み出すことができる。				
事業概要	少子高齢化・人口減少が進行する中、結婚等に伴い新たな生活を始める新婚世帯等に対し、結婚等に伴う住宅の賃借・購入費用や引越費用を補助することにより、結婚等をしやすい環境づくりを推進し、もって少子化対策の強化に資するとともに、若年世代の本市への定住を促進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		本補助金により、結婚等に伴う経済的負担が軽減され、定住促進にもつながる。	対象者に結婚等新生活支援補助金が交付される。	結婚等新生活支援事業を実施する。
指標設定	指標説明	結婚等新生活支援事業に関するアンケートに回答した世帯のうち、本補助金が、枚方市に住む理由のひとつとなった」と回答した世帯数	補助金交付申込世帯数における交付決定世帯数	補助金交付申込世帯数
		単位 世帯	単位 件	単位 件
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	100 120 130 140	202 202 424 424	202 202 424 424
	実績	99 198 150 126	201 296 319 294	201 296 319 294
達成度		90%	69%	69%

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.75
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,428	4,687	5,921		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,428	4,687	5,921		
	物件費計	81,126	81,597	78,955	127,290	62.0%
歳出計		90,554	86,284	84,876		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	37,727	33,579	34,382	60,000	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	37,727	33,579	34,382	60,000	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		43,399	48,018	44,573	67,290	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は事業実施から7年目となり、事業の継続により本市で本補助を行っていることについて認知度が上がっていること、市SNS等で本補助金の周知を行ったことなどから、多くの申込みがあり、定住促進を図ることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度は、所得要件を引き続き500万円未満として実施している。その効果検証等を行うとともに、引き続き、より効果的な制度につながるよう取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 369

事務事業名称	子どもの見守り推進事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名		健やかな育ちを支える仕組みづくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	子供の貧困対策の推進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	社会福祉審議会児童福祉専門分科会				
事業対象	メインターゲット	貧困や虐待、不登校などの、生活に課題を抱える子ども			
	サブターゲット	貧困や虐待、不登校などの、生活に課題を抱える子どもを持つ保護者			
	ターゲットが抱える課題	子どもの貧困の背景には生活面、経済面など様々な課題が複合的に重なっており、個別の支援サービスの提供のみでは解決が困難なケースが多い。			
	ターゲットが抱える課題	生活に課題を抱える家庭の保護者に対しては、必ずしも必要な支援が届いておらず、また周囲に相談相手がおらず、世帯が孤立している傾向が伺える。			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	教育と福祉の連携をはじめ、子どもやその家庭の支援に携わる市の関係部署間や、関係機関同士の連携を強化することで、支援が必要な家庭を積極的に把握し、既存の支援制度を効果的に活用し、切れ目のない支援を提供できる状態。				
事業概要	子どもの貧困等の課題への対策として、「子どもの未来応援コーディネーター」を配置し、学校や子ども食堂等への巡回・訪問を通じて、生活習慣等の課題のある環境におかれた子どもを把握するとともに、教育と福祉の連携を図りながら、当該子どもに対して、福祉等の制度や関係機関へのつなぎなど、必要な支援を積極的に提供する。 また、必要に応じて、子どもの課題を解決に向けた必要な施策を構築するための調査を教育委員会やその他関係機関と連携し実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		把握した子どもやその家庭にアプローチを行い、関係機関や支援制度の利用につながることができている。				巡回、訪問を通じて、学校園や子ども食堂から、課題を抱える子どもや家庭を把握する。				生活習慣の乱れ等の課題を抱える子どもを把握するため学校園、子ども食堂等への巡回、訪問を行う。				
指標設定	指標説明	当該子どもやその家庭に対し、関係機関や支援制度等の必要な支援につなげた件数				学校園等から課題を抱える子どもに関する相談を受けた件数				学校園、子ども食堂等への巡回、訪問回数				
		単位		件		単位		件		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	20	25	30	35	30	35	40	45	150	160	170	180
		実績	6	11	10	32	25	29	14	59	219	154	182	144
達成度		91%				131%				80%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,536	5,417	4,342		
	会計年度任用職員	0	1,301	671		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,536	6,718	5,013		
	物件費計	0	125	0	0	
歳出計		3,536	6,843	5,013		
歳入	国庫支出金	0	84	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	23	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	107	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	18	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	子ども食堂等への巡回・訪問を行う中できめ細やかなヒアリングに努め、当該子どもやその家庭へ必要な支援への繋ぎを行った。また、SSWに対し助言やその担当校とのコーディネート等を行うため、SSWと共に学校を訪問するなど、教育と福祉の連携をより円滑化できるよう取り組んだ。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、SSWとも連携し、学校園、子ども食堂等への巡回・訪問を通して、教育と福祉の連携を図りながら当該子ども等に対して必要な支援を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 370

事務事業名称	子どもの居場所づくり補助事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市子どもの居場所づくり推進事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市子どもの居場所づくり推進事業補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	十分に食事がとれていなかったり、一人で食事をとるなど、生活に課題を抱える子ども			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	経済的な理由で十分に食事をとれていない。			
	ターゲットが抱える課題	親の帰宅が遅いなどの理由で、家で一人で食事をとる状況にあり、コミュニケーションや悩みの相談など団らんの場を十分に持てていない。			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	定期的に家庭的な雰囲気の中で食事がとれ、学習支援や相談支援を受けることができる場となり、地域の大人たちが子どもたちを見守る環境が出来ている状態。				
事業概要	子どもの居場所づくりの一環として、家で一人で食事をとるなどの環境にある子どもに無償（中学生以下）での「食事の提供」に取り組む団体（子ども食堂）に対し、その取り組みに必要な備品の購入の初期経費のほか、食材費の運営経費について補助金を交付する。 また、子ども食堂が開催できていない校区において、試行として三季休業中に子ども食堂を実施する運営団体を募り、食材費等の運営経費について補助金を交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		定期的に家庭的な雰囲気の中で食事をとり、学習支援や相談支援を受けることができる場となり、地域の大人たちが子どもたちを見守る環境が出来ている。				支援の充実により、家で一人で食事をとるなどの状況になる子どもが各団体に参加できる機会が増える。				家で一人で食事をとるなどの環境にある子どもに無償(中学生以下)での「食事の提供」等に取り組む団体に対し、支援を実施。			
指標設定	指標説明	参加した子どもにおける事業の満足度 【算出式:満足度の高いアンケート回答者数／アンケート回答者数×100】				子どもの延べ参加人数				子どもの居場所づくり推進事業実施団体数			
	単位		%		単位		人		単位		団体		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	12,000	12,300	12,600	12,900	25	26	45
	実績	-	-	94.30	88.60	5,989	10,218	11,316	14,457	20	19	18	20
	達成度	89%				112%				44%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.55
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	3,854	4,342		
	会計年度任用職員	0	1,301	671		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,286	5,155	5,013		
歳入	物件費計	3,080	1,896	2,658	4,688	56.7%
	歳出計	9,366	7,051	7,671		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	3,020	1,886	2,658	2,766	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	44	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,064	1,886	2,658	2,766	
一般財源（物件費に充当されるもの）		16	10	0	1,922	

5. 総括的分析

総括的分析	実施団体数は増加し、参加延べ人数も目標値を大きく上回る結果となった。こうしたニーズの増加を背景に、今後も既存団体の活動が活発化することが予想されるとともに、新規団体の参入も見込まれているため、実施団体のさらなる増加に向けた制度の拡充が求められる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	継続して全小学校区での子ども食堂の開設を目指すとともに、子どもの準備食数が40食以上提供する団体に対し、1回につき10,000円という新たな補助区分を設ける。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 385

事務事業名称	「子どもを守る条例」啓発事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	健やかな育ちを支える仕組みづくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)	年度	～		年度まで
根拠法令等	子どもを守る条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内在住の概ね18歳未満の全ての子ども			
	サブターゲット	子どもの保護者、市民、事業者等			
	ターゲットが抱える課題	児童虐待やいじめなど、子どもの健やかな成長を阻害する事案が発生する可能性がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童虐待やいじめ等から子どもが守られ、生命や心身の発達に重大な影響を及ぼすような事案が発生しない状態				
事業概要	子どもを守る条例の目的について、子ども、保護者、地域住民、学校園等及び事業者の理解を深めるため、広報活動、その他必要な措置を講ずる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		「子どもを守る条例」への理解が浸透した結果として、市民全体で子どもの健やかな成長に取り組む意識が高まる。				各メディア(広報、市HP、Twitter、Facebook、Youtube等のSNS)を活用し、市内の子ども、保護者、学校園、事業者等に周知する。				各メディア(広報、市HP、Twitter、Facebook、Youtube等のSNS)を活用した「子どもを守る条例」の啓発に取り組む。				
指標設定	指標説明	インターネットアンケート、スマホアンケート等による、条例の周知割合の調査 【算出式:条例を知っていると答えた人/アンケート回答者数×100】				各メディア(広報、市HP、Twitter、Facebook、Youtube等のSNS)を活用した啓発コンテンツの発信回数				各メディア(広報、市HP、Twitter、Facebook、Youtube等のSNS)を活用した啓発コンテンツの作成数				
		単位		%		単位		回		単位		個		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	—	60	80	100	—	20	20	20	—	20	20	20
		実績	—	16	20	20	—	51	11	10	—	51	11	10
達成度		20%				50%				50%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		「子どもを守る条例」への理解が浸透した結果として、市民全体で子どもの健やかな成長に取り組む意識が高まる。				その他媒体(電子データまたは紙媒体も含むリーフレット、ポスター等)を活用し、市内の子ども、保護者、学校園、事業者等に周知する。				その他媒体(電子データまたは紙媒体も含むリーフレット、ポスター等)を活用した「子どもを守る条例」の啓発に取り組む。				
指標設定②	指標説明	インターネットアンケート、スマホアンケート等による、条例の周知割合の調査 【算出式: 条例を知っていると答えた人/アンケート回答者数×100】				その他媒体(電子データまたは紙媒体も含むリーフレット、ポスター等)の配布枚数				その他媒体(電子データまたは紙媒体も含むリーフレット、ポスター等)の作成数				
		単位		%										単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	—	60	80	100	—	30,000	30,000	30,000	—	30,000	30,000	30,000
		実績	—	16	20	20	—	36,962	68,400	6,383	—	36,962	68,400	6,383
	達成度	20%				21%				21%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	8,407	6,640	2,369		
	会計年度任用職員	0	66	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,407	6,706	2,369		
	物件費計	423	2,674	212	504	42.1%
歳出計		8,830	9,380	2,581		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	2,659	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	2,659	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		423	15	212	504	

5. 総括的分析

総括的分析	子ども向けワークショップと大人向け講演会「感じてみよう！子どもの気持ち」を同時開催し、延べ67人が参加したほか、条例啓発リーフレットを作成し、市内の公立施設等に配布するとともに、出前授業及び中学校への出張授業に赴く際にもリーフレットを配付し、さまざまな手法による周知・啓発に取り組んだが、認知度の目標達成には至らなかった。 なお、令和4年度はギフトカード配付事業実施時に62,262部のリーフレットを送付した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市公式YouTubeでの条例解説動画の公開や参加型イベントの実施等、あらゆるコンテンツで情報発信し周知・啓発に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 386

事務事業名称	枚方市ひとり親家庭等自立促進計画関係事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会				
事業対象	メインターゲット	市内在住の母子家庭、父子家庭および寡婦			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	・低賃金や不安定な雇用など、取り巻く環境が厳しい。 ・子育てと生計を一人で担わなければならない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	本計画の基本理念である「ひとり親家庭等の誰もがいきいきと希望を持って暮らせるまち」が実現される。				
事業概要	枚方市ひとり親家庭等自立促進計画の策定、進捗管理及び「社会福祉審議会児童福祉専門分科会」の事務局運営を行う。 また、本計画の基本理念の実現に近づけるよう、母子・父子自立支援員によるひとり親家庭等相談等に取り組んでいる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」を推進する。				「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」に係る各種事業に取り組む。			
指標設定	指標説明		「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」の推進による影響が大きい母子・父子自立支援員によるひとり親家庭等相談の件数				「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」に係る各種事業の数(現年度当初時点)			
			単位 件				単位 件			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		—	815	830	845	—	121	121	121
	実績		—	924	1,096	877	—	121	121	124
達成度			104%				102%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,357	3,672	1,579		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,357	3,672	1,579		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		2,357	3,672	1,579		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定通りであった。相談件数の内訳として、生活資金に係る貸付金の相談件数が減少しており、経済的な不安を抱える相談者が減少したものと考えられる。主に計画の進捗管理にかかる実効性や透明性の確保に努めるとともに、今後の国の施策の動向、社会・経済情勢等の変化も見極めながら、引き続き各種施策の改善・見直しにつなげていく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「第4次枚方市ひとり親家庭等自立促進計画」では、養育費確保に向けた相談支援体制の充実など、今後、新たにに取り組むべき内容を記載しており、引き続きひとり親家庭等の自立に向けた検討を進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 873

事務事業名称	子ども青少年政策課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	子ども未来部			課	子ども青少年政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	子ども青少年政策課内の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課の運営が滞りなく円滑に進んでいる状態。				
事業概要	子ども青少年課の予算及び決算に関する事務、職員の給与・休暇・人事・服務に関する事務、物品購入、物品管理事務、文書の収受・発送・管理事務等を行う。 子ども青少年部の総務担当課としての事務を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.85
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.21
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,607	14,687	14,606		
	会計年度任用職員	1,109	654	442		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,716	15,341	15,048		
歳入	物件費計	1,360	654,533	1,326	1,924	68.9%
	歳出計	13,076	669,874	16,374		
	国庫支出金	0	643,829	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	643,829	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,360	10,704	1,326	1,924	

5. 総括的分析

総括的分析	子ども青少年政策課の運営にあたり、必要な事務処理を行った。 総務担当課として、部のとりまとめに係る事務処理を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も適正かつ適切な業務運営に努める。